

お知らせ

平成27年6月19日
国立研究開発法人 防災科学技術研究所

「10分先の大雨情報」社会実験

モニター1000人を7月1日から追加募集

～関東の一部で激しい雨が降る10分前にメールで情報配信～

国立研究開発法人防災科学技術研究所(理事長: 岡田義光)は、一般財団法人日本気象協会(会長: 縄野 克彦)と共同で、激しい雨が降る最大10分前にEメールで情報を伝達する「10分先の大雨情報」の有効性を検討するための社会実験を、平成27年6月1日から10月31日の予定で行っています。このたび、より多くの方からのご意見をいただくため、7月1日13時よりモニターの追加募集をいたします。

なお、本社会実験は、総合科学技術・イノベーション会議が推進する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」の一環として実施するものです。

モニターにご協力頂ける方は、別紙資料を御確認下さい。応募順に先着1000名までとさせていただきます。

「10分先の大雨情報」社会実験

モニター1000人を7月1日から追加募集

～関東の一部で激しい雨が降る10分前にメールで情報配信～

1. 概要

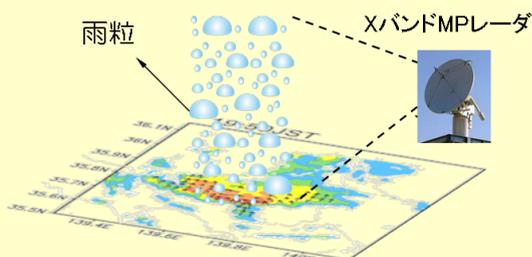
国立研究開発法人防災科学技術研究所(理事長: 岡田義光)は、一般財団法人日本気象協会(会長: 縄野 克彦)と共同で、激しい雨が降る最大10分前にEメールで情報を伝達する「10分先の大雨情報」の有効性を検討するための社会実験を、平成27年6月1日から10月31日までの予定で実施しています。

「10分先の大雨情報」とは、国土交通省が運用するXバンドMPLレーダ(参考資料①)ネットワーク(XRAIN)を活用し、激しい雨が上空で検知された時点で情報を発信するもので、雨粒が上空から落ちてくるまでの時間差を利用したシステムです(下図)。本情報は、屋外で活動中の方などに活用されることを想定しています。

なお、本社会実験は、総合科学技術・イノベーション会議が推進する戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」(参考資料②)の一環として実施するものです。

「10分先の大雨情報」社会実験の概要

上空で激しい雨が検出された時点でメールを送信



メール配信

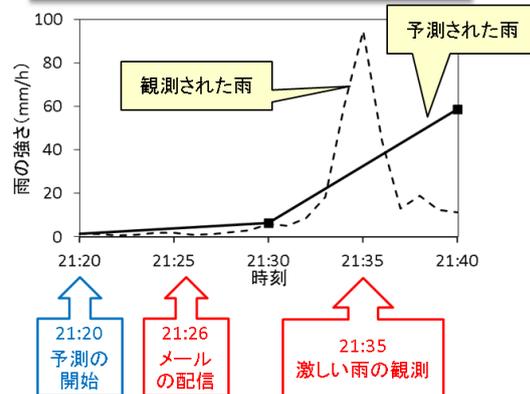
件名: まもなく激しい雨が降ります

2015/06/xx 22:40を初期時刻とするVILナウキャストにより、□□周辺で20分内に雨量が閾値(30mm/h)を超えます。

予想される10分間雨量(1時間雨量強度)は

- ◆22:50まで
9.1mm(54.6mm/h)
- ◆23:00まで
6.6mm(39.9mm/h)
- 以上

メール配信の例



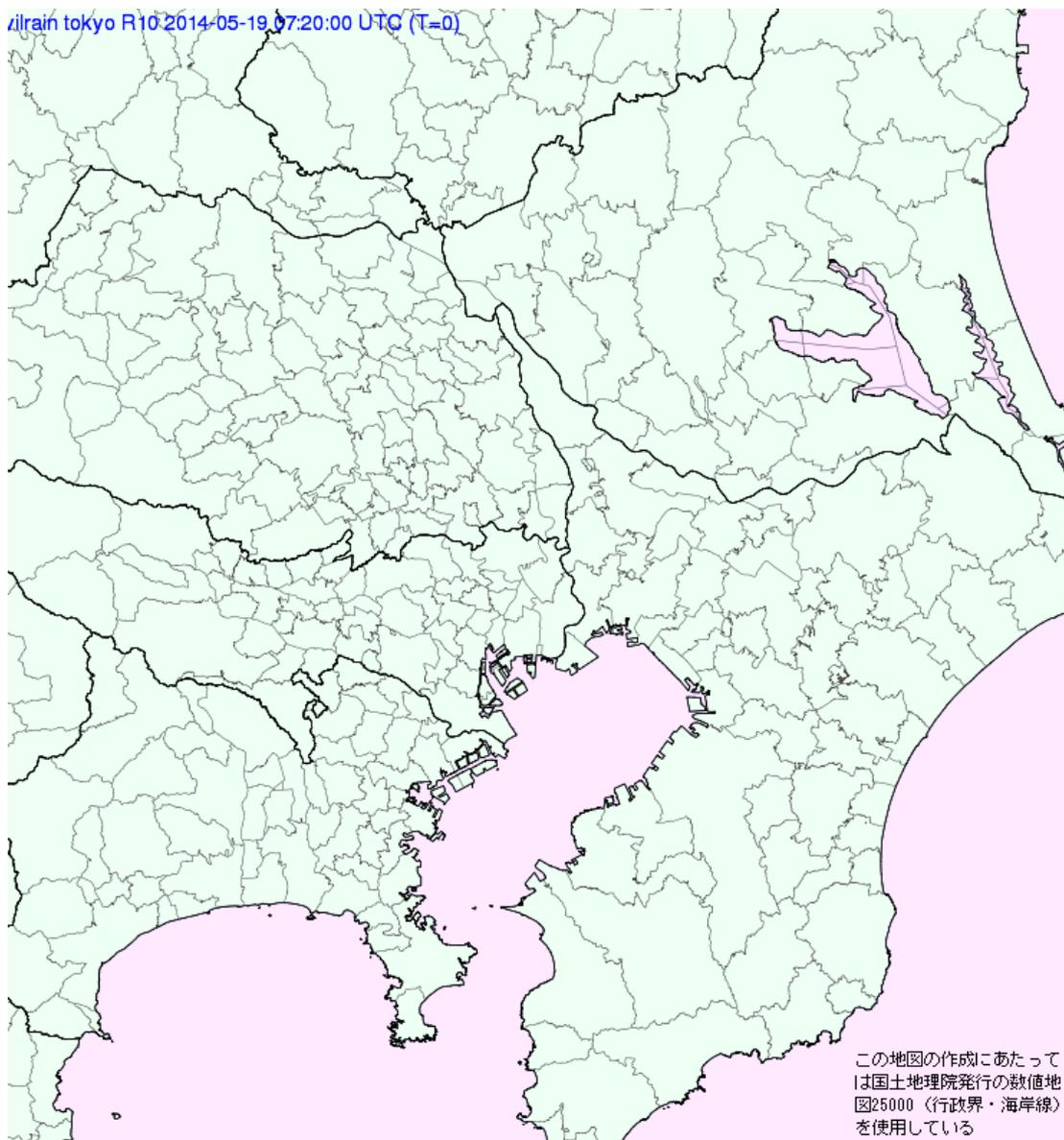
試験的にメール配信を行った例です。21:26にメールが配信され、その9分後に激しい雨が観測されました(2013年7月14日)。

スケジュール

- H27年5月 モニター募集
- H27年7月 モニター追加募集
(先着1000人)
- H27年6月-10月 実験の実施
- H27年11月 成果とりまとめ

2. 予測の対象範囲

今回の予測の対象範囲は、関東の一部（北緯 35°～36.4895°、東経 139°～140.705°）です（下図）。



3. モニター募集

(1) 応募条件

モニター対象者は、上図の範囲内の「10分先の大雨情報」の活用を希望し、Eメールでその情報を受信できる方とさせていただきます。なお、登録頂いたモニターの方には、メール受信後に利用者アンケートにご協力いただきます。

(2) 応募期間及び人数

応募期間：平成27年7月1日13時から

人数：先着1000名

(3) 利用登録

1. ユーザ登録アドレス（ entry-vilrain@bousai-mail.jp ）へ空メールを送信します。
2. 折り返しの登録案内メール中の URL にアクセスし、その後は画面の指示にしたがって必要事項を登録します。
3. 設定画面から「登録地点、配信期限、メール受信間隔、カテゴリ」の設定を行います（配信基準の設定は変更できません）。

①登録地点

地図の中心部の座標が入力欄に表示されます。「設定」ボタンで確定します。「矢印」ボタンで移動、「広域・詳細」ボタンで地図の縮尺を選べます。また、座標を入力欄に直接入力しても設定できます。

場所名で入力した名称はメールの対象地点名となります。最大2地点まで指定可能です。

The image shows two screenshots of a web interface for setting up a rain alert service. The left screenshot shows the initial state with several settings: registration location (unset), distribution criteria (5mm/10min), distribution period (daytime), email interval (6 hours), and category (unset). The right screenshot shows the final state after adjustments: the distribution period is set to 'daytime only', and the email interval is changed from 6 hours to 60 minutes. A red arrow points from the left to the right, indicating the transition. A separate box with a red arrow points to the registration location field, containing instructions to move the map center to the desired location and click '設定' (Set).

【SIP】10分先の大雨情報

【SIP】10分先の大雨情報メール配信システムへようこそ。
あなたの現在の設定状況は以下の通りです。

▼登録地点(最大2地点まで指定可能)
登録地点1
未設定
登録地点2
未設定

▼配信基準
10分間予測雨量 5mm(30mm/h)

▼配信期限
日中(7時~19時)のみ

▼メール受信間隔
6時間毎

▼カテゴリ
未設定

[登録削除はこちら](#)

➤ 登録したい地点が中央にくるように、地図を動かす。
➤ 「設定」ボタンで登録。

【SIP】10分先の大雨情報

配信を希望する条件を選択し、「設定」ボタンを押して下さい。

▼配信期限の選択
 期限なし(全日)
 日中(7時~19時)のみ監視、期限なし
 当日限り(当日の19時まで)

▼メール受信間隔
6時間毎
1時間毎
3時間毎
60時間毎
12時間毎
24時間毎

設定

②配信期限

夜間など、情報が不必要な時間帯にはメールを受信したくない方のために、メールが配信される時間帯を以下の3通りから設定することができます。

- ・ 期限なし(全日)
- ・ 期限なし(日中7時~19時)
- ・ 当日限り(19時まで)

③メール受信間隔

大雨情報メールが繰り返し配信されるのを避けるため、一度メールを受信すると、一定時間はメールが送信されないようになっています。大雨情報メールを受け取る最小の時間間隔を1時間、3時間、6時間、12時間、24時間から選択します。

④カテゴリ

ご利用者の職業や利用目的から選択します。

(4) 利用

1. 情報配信

配信基準の予測雨量（10 分間 5mm（30mm/h）以上）を満たす場合に、登録頂いた E メールアドレスに通知が届きます。

2. 利用者アンケート

予測精度や情報配信について、アンケートにご協力いただきます。情報を配信したメールの末尾に書かれている URL から入力してご送信ください

(5) QRコード

登録用 QRコードは、次のとおりです。



ユーザー登録アドレス

4. 参考資料

① XバンドMPレーダについて

防災科学技術研究所は、平成 12 年に XバンドMPレーダを開発し、同レーダによる降雨強度推定手法に関する研究を行ってきました。

XバンドMPレーダの降雨強度推定は、従来気象観測に利用されてきたレーダよりも精度（空間分解能 250m、時間分解能 1 分）が高く、特に、災害をもたらすような強い雨に有効であることがわかりました。

② 総合科学技術・イノベーション会議が推進する戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」

<http://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/>

総合科学技術・イノベーション会議が自らの司令塔機能を発揮して、府省の枠や旧来の分野の枠を超えたマネジメントに主導的な役割を果たすことを通じて、科学技術イノベーションを実現するために新たに創設するプログラムの一課題です。